

評価シート

No.

1

事業所管

都市計画局歩くまち京都推進室

1 事業名	交通混雑緩和に向けた情報発信等の強化
2 事業期間	令和5年4月 ～ 令和8年3月
[3 事業概要]	
本市では、「歩くまち・京都」総合交通戦略2021の下、クルマに過度に依存しない、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を進めている。 本市に多くの観光客が来訪される中、一部のエリアや一部の時間帯に観光客の集中が発生しており、一部路線や区間での市バスの車内混雑、一部観光スポット周辺での車の渋滞、観光マナーに関する問題が発生している。 そのため、関係各局が連携し、市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向け、観光課題対策に取り組んでいる。 その中で当該事業は、公共交通の混雑（とりわけ観光客の京都駅への一極集中）や道路の混雑緩和に向け、「日常生活・出発地」、「車内・経路」、「目的地直前」の3つのタイミングに応じた効果的な情報発信等を実施し、市内移動での鉄道利用の促進による観光客の「サブゲート（周辺駅）」への分散化や、パークアンドライドの利用促進等を図っている。	
[4 本事業が紐づく令和6年度政策評価結果]	
政策名【歩くまち】 評価【B】	
施策名【地域特性に応じた持続可能なまちづくりを実現する公共交通ネットワークの形成】 評価【B】	
<推進施策の内容>	
人と公共交通優先のまちづくりに向け、公共交通の車内や歩行空間の混雑解消、公共交通を支える担い手不足などの課題の解決に資するよう、IoTやAI、自動運転などの新技術、移動や交通に関する新たな概念であるMaaSの活用等の検討を進めるとともに、交通事業者間の連携により、持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた取組を進めていく。	
[5 事業目標]	
【公共交通の混雑】	
・ 指標：京都観光に関する市民意識調査の設問「路線バスや地下鉄などの公共交通機関が混雑して迷惑した」に対し、「とても当てはまる」「当てはまる」と回答した割合（数値目標：前年から減少（令和4年度：58.3%））	
【道路の混雑】	
・ 指標：京都観光に関する市民意識調査の設問「道路が渋滞して迷惑した」に対し、「とても当てはまる」「当てはまる」と回答した割合（数値目標：前年から減少（令和4年度：61.9%））	

〔6 令和5年度及び令和6年度の実績〕

秋・春の観光シーズン（10月、11月、3月）を中心に、「日常生活・出発地」、「車内・経路」、「目的地直前」の3つの段階に応じた効果的な情報発信等の対策を実施

(1) 公共交通の混雑

京都駅から観光地へ移動する観光客に対し、地下鉄・鉄道利用を促すとともに、大阪方面から入洛する観光客に対しては、京都駅を経由しないルート等への案内・誘導を実施

① 日常生活・出発地

外国人観光客に向けたデジタル広告や、首都圏等の出発駅・関西空港・大阪府内宿泊施設等におけるチラシ配布等を実施

② 車内・経路

東海道新幹線車内におけるテロップ放送やJR西日本在来線車内におけるモニター放映等を実施

③ 目的地直前

京都駅での情報発信や、期間限定案内所の設置による地下鉄等への案内・誘導を実施するとともに、京都駅タクシー乗り場における利用者の滞留対策を実施

※ 「路線バスや地下鉄などの公共交通機関が混雑して迷惑した」に対し、「とても当てはまる」「当てはまる」と回答した割合：62.4%（令和4年度：58.3%）

(2) 道路の混雑

マイカー利用の多い地域（大阪、兵庫、愛知）において、タイミングに応じた情報発信を行い、マイカーから公共交通利用促進を図っているほか、駐車料金の割引・無料化といった経済的インセンティブや民間事業者との連携による駐車場の開放など、事前の行動変容から直前のパークアンドライドまで、階層的な流入抑制の取組を実施

① 日常生活・出発地

SNS（X、LINE）や特設ホームページ、デジタル広告を活用した情報発信を実施

② 車内・経路

ラジオや、高速道路SAの広告媒体を活用した情報発信を実施

③ 目的地直前

高速道路出口から駐車場まで案内看板による誘導を実施

※ 「道路が渋滞して迷惑した」に対し、「とても当てはまる」「当てはまる」と回答した割合：61.1%（令和4年度：61.9%）

【令和6年度秋の観光シーズンにおける取組の詳細については別紙のとおり】

1	事業名	交通混雑緩和に向けた情報発信等の強化
---	-----	--------------------

7 予算及び決算

(千円)

令和5年度予算現額	令和5年度決算	令和6年度当初予算	R6予算-R5決算
事業費 41,300	事業費 38,621	事業費 87,700	49,079
【財源内訳】	【財源内訳】	【財源内訳】	
特定財源 0	特定財源	特定財源 32,075	32,075
[]	[]	デジタル田園都市交付金 13,875	
[]	[]	観光庁補助金 18,200	
一般財源 41,300	一般財源 38,621	一般財源 55,625	17,004
【内訳】	【内訳】	【内訳】	<備考>
旅費 200	旅費 106	旅費 100	
需用費 300	需用費 64	需用費 400	
委託料 35,800	委託料 33,451	役務費 20,500	
補助金 5,000	補助金 5,000	委託料 57,000	
		補助金 9,700	

8 R5 決算の不用理由 (10%以上)	
9 R5 決算とR6 予算の乖離理由 (±10%以上)	(1) 公共交通の混雑対策として、京都旅行が確定している外国人観光客等を対象に、デジタル広告を用いた鉄道利用等を促す情報発信や、大阪方面から入洛する観光客等に向けて、関西国際空港や大阪府内宿泊施設等において、京都駅を経由しない入洛ルートの利用を促すチラシの配布等を実施 (2) 令和5年度に別事業で実施していた京都駅における期間限定案内所の設置やタクシー滞留対策を本事業において実施

[10 役割分担評価]

公共性	公益性	☒ より多くの市民に提供されるサービス（共同消費性） ☐ 特定の個人または集団に提供されるサービス（個人消費性）
	必要性	☐ 日常生活に必要不可欠なサービス（必需） ☒ 日常生活に必要不可欠でないサービス（選択）
実施主体の妥当性	政策性	☒ 政策的意思決定を必要とするサービス（政策的） ☐ 経常業務の度合いが高いサービス（経常的）
	行政専門性	☐ 行政上の専門知識を必要とするサービス（行政専門性） ☒ 行政上の専門知識を必要としないサービス（一般専門性）

[11 政策・施策及び事業目標を踏まえた取組実績に対する評価]

(1) 令和5年秋の観光シーズンにおいては、京都駅前から東山（清水寺・祇園）方面へと向かう京都駅バスのりばの待ち時間は最大でも概ね10分以内であったほか、令和5年の観光客の入洛利用交通機関については、公共交通機関の利用者が90.7%、車での入洛者が9.3%（前年度比4.8ポイント減）となるなど、「地域特性に応じた持続可能なまちづくりを実現する公共交通ネットワークの形成」という推進施策の実現に向け、混雑緩和の取組の効果が一定現れているものと考えている。

(2) また、本市の観光課題対策について、関西の鉄道事業者10社局（鉄道による京都観光を勧める中吊り広告による情報発信）やイオンモール株式会社（パークアンドライドに利用可能な駐車場として施設内駐車場を開放）等、民間事業者との連携も広がっている。

(3) 一方で、令和5年京都観光に関する市民意識調査の設問「路線バスや地下鉄などの公共交通機関が混雑して迷惑した」「道路が渋滞して迷惑した」に対し、「とても当てはまる」「当てはまる」と回答された方がいずれも6割を超えている。コロナ禍からの反動も影響していると思われるが、取組の成果を市民の方に実感していただけたところまでは至っていない。市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向け、引き続き、交通混雑緩和に向けた情報発信等の強化に取り組んでいく必要がある。

12 令和7年度の方向性

充実

[13 参考（他都市の状況・事業効果、考慮すべき特殊事情など）]

他都市での類似事例なし。



令和6年10月11日

市民生活と観光の調和推進プロジェクトチーム

京都市都市計画局

〔担当：歩くまち京都推進室〕
TEL：075-222-3483

京都市産業観光局

〔担当：観光MICE推進室〕
TEL：075-746-2255

令和6年度 秋の観光課題対策（京都駅一極集中の緩和・手ぶら観光の推進） ～京都駅一極集中の緩和及び手ぶら観光の推進に向けた情報発信～

京都市では、関係機関との連携の下、市民生活と調和した持続可能な京都観光の実現に向け、取組を進めています。

本市に多くの観光客の来訪が見込まれる秋の観光シーズンにおいて、ＪＲ西日本・ＪＲ東海をはじめとする鉄道事業者と連携し、観光客の京都駅一極集中の緩和、手ぶら観光の推進等に関する情報発信を、「日常生活・出発地」、「車内・経路」、「目的地直前」という３つの段階に応じて実施します。

なお、一部事業については、オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業（観光庁補助金）を活用して実施します。

1 日常生活・出発地

（１）京都駅を経由しない入洛ルート等の情報発信 **新規**

大阪方面から入洛する観光客等に向け、京都駅を経由しない入洛ルートや、各路線駅から主要観光地へのアクセス方法について、情報発信を実施します。

ア 関西の鉄道事業者１０社局と連携（※）した駅等における情報発信

※ 連携鉄道事業者

Osaka Metro、近畿日本鉄道株式会社、京阪電気鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社、叡山電鉄株式会社、京福電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、京都市交通局（順不同）

（ア）内容

大阪・京都を中心とした２００以上の連携鉄道事業者の駅等において、ポスター・チラシ等による情報発信を実施します。

（イ）実施期間

令和6年10月下旬～

※ 各社局で順次掲示



ポスター・チラシ

(ウ) 実施箇所 (例)

Osaka Metro	全駅
J R 西日本	大阪環状線全駅、京都駅、嵯峨嵐山駅 等
京阪電気鉄道	京橋駅、祇園四条駅 等
南海電気鉄道	なんば駅 等
阪急電鉄	大阪梅田駅、京都河原町駅 等
阪神電気鉄道	大阪梅田駅 等
叡山電鉄	全駅
京福電気鉄道	嵐山本線・北野線各駅 (一部の駅を除く)
京都市交通局	京都市営地下鉄全駅

イ 関西国際空港 (関西ツーリストインフォメーションセンター) における情報発信

観光庁補助

(ア) 内容

スタッフによるチラシの配布やデジタルサイネージ等による情報発信を実施します。

(イ) 実施期間

令和6年11月1日 (金) ~ 12月31日 (火)



関西ツーリストインフォメーションセンター

ウ 大阪府内宿泊施設における情報発信

観光庁補助

(ア) 内容

- ・ 大阪府内宿泊施設でのスタッフによる宿泊者へのチラシ配布等
 - ・ 大阪のホテル・旅館などの客室に設置されている大阪の観光情報雑誌「大阪観光コンシェルジュ」への記事掲載
- (設置宿泊施設数：約500施設、設置部屋数：約16,000室)

(イ) 実施期間

チラシの配布等：令和6年11月1日 (金) ~ 11月30日 (土)

大阪観光コンシェルジュ：令和6年12月10日刊行



大阪観光コンシェルジュ

エ 難波観光案内所及び観光交流プロモーション拠点「Pivot BASE」における情報発信

観光庁補助

(ア) 内容

訪日外国人で賑わう「大阪・なんば」にある難波観光案内所及び道頓堀商店街の中心に位置する観光交流プロモーション拠点「Pivot BASE」において、スタッフによるチラシの配布やデジタルサイネージ等による情報発信を実施します。

難波観光案内所



Pivot BASE



(イ) 実施期間

難波観光案内所：令和6年11月1日 (金) ~ 12月31日 (火)

Pivot BASE：令和6年11月1日 (金) ~ 11月30日 (土)

(2) 外国人観光客に向けたデジタル広告を活用したサブゲート利用に係る情報発信

観光庁補助

ア 内容

航空券や宿泊予約などの旅行購買データを基に、京都旅行が確定している外国人観光客や京都観光に関心のある外国人観光客等に対し、在日外国人インフルエンサーも活用し、主に日常生活・出発地（旅マエ）の段階で、デジタル広告（YouTube、Google 広告、FACEBOOK、Instagram、Weibo）を用いた多言語でのサブゲート利用を促す情報発信を実施します。

イ 実施期間

令和6年11月1日（金）～12月31日（火）

ウ 配信地域

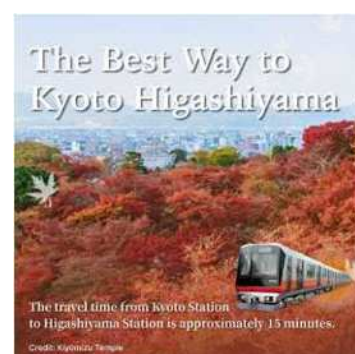
アメリカ、イギリス、オーストラリア、中国、台湾、香港

【コンテンツ事例】

動画



バナー



(3) 首都圏等におけるデジタルサイネージなどを活用した情報発信

ア 内容

デジタルサイネージやポスターを活用し、首都圏や中京圏、関西圏の駅において、サブゲートの利用を促す情報発信（多言語対応）を実施します。

イ 実施期間

首都圏・中京圏：令和6年11月4日（月）～12月1日（日）

関西圏：令和6年11月18日（月）～24日（日）

ウ 実施場所

首都圏：東京駅（デジタルサイネージ）

中京圏：名古屋駅（デジタルサイネージ）

新規

関西圏：大阪駅、新大阪駅、三ノ宮駅（デジタルサイネージ・ポスター）

神戸駅、芦屋駅、尼崎駅、高槻駅（ポスター）

新規

【放映・掲示内容】

首都圏・中京圏



関西圏



(4) 東京駅イベントスペース（八重洲コンコース・八重洲中央）における情報発信

ア 内容

サブゲートの利用を促すチラシや手ぶら観光の推進に関するチラシを配架します。

イ 実施期間

令和6年10月7日（月）～10月20日（日）



東京駅イベントスペース

(5) 新幹線駅（東京駅、品川駅、新横浜駅、京都駅等）の改札上等のモニターを活用した多言語発信

ア 内容

日英中3言語併記により、地下鉄を利用した京都観光を促進します。

イ 実施期間

令和6年11月（予定）

【モニター（新横浜駅）】



【掲示内容】



(6) JR西日本列車運行情報 公式X（旧 Twitter）による発信

ア 内容

清水寺や南禅寺など、東山方面へのアクセスに鉄道を活用した観光ルート案内とともに、主な観光スポットの混雑状況が分かるサイト「京都観光快適度マップ」やリアルタイムの混雑状況が一目で分かるライブカメラ映像の利用を促進します。

イ 実施日

令和6年11月22日（金）（予定）



2 車内・経路

(1) 鉄道による京都観光を勧める中吊り広告による情報発信

ア 内容

関西の鉄道事業者10社局が連携し、様々な鉄道を利用して京都にお越しいただくことに加え、京都市内を巡る際にも積極的に鉄道を御利用いただくことを勧める電車内中吊り広告を、JR西日本において作成・印刷いただき、各社で掲出します。

イ 実施期間

令和6年10月下旬～

※ 各社局で順次掲出



中吊り広告

(2) 東海道新幹線車内テロップ及び車内放送による情報発信

ア 内容

新幹線車内テロップ及び車内放送により、地下鉄利用や手ぶら観光を促進するとともに、新幹線コンコース内に設置のパンフレット等を紹介します。



R5 新幹線車内テロップ

イ 実施期間

テロップ：令和6年10月25日（金）～12月12日（木）

車内放送：令和6年11月1日（金）～11月30日（土）

(3) JR西日本WESTビジョン（在来線車内モニター）による情報発信

ア 内容

JR西日本在来線車内モニターを活用し、サブゲートの利用を促す情報発信（多言語対応）を実施します。



在来線車内モニター

イ 実施期間

令和6年11月18日（月）～24日（日）

【放映内容】



(4) 移動生活ナビアプリ「WESTER」による発信

ア 内容

アプリ登録者へプッシュ通知を配信し、清水寺や南禅寺など、東山方面へのアクセスにJR山科駅の活用を促すとともに、主な観光スポットの混雑状況が分かるサイト「京都観光快適度マップ」の利用を促進します。

イ 実施期間

令和6年11月16日（土）～12月1日（日）



(5) 新快速電車（東海道本線）車内放送による発信

ア 内容

「JR高槻駅⇔JR京都駅間」及び「JR大津駅/大津京駅⇔JR山科駅間」において、車内放送で清水寺や南禅寺など、東山方面へのアクセスにJR山科駅の活用を促すとともに、主な観光スポットの混雑状況が分かるサイト「京都観光快適度マップ」の利用を促進します。

イ 実施期間

令和6年11月2日（土）～12月1日（日）の土休日ダイヤの日

※ 京都駅に8時～13時に到着する便

(6)「関空特急はるか」車内放送による多言語発信

ア 内容

荷物の配送・ロッカーなどの預けられる場所が分かる手ぶら観光情報サイト「HANDS FREE KYOTO」の活用を促すとともに、鉄道を活用した観光ルートを案内します。

イ 実施期間

令和6年11月2日（土）～12月1日（日）の土休日ダイヤの日

3 目的地直前

(1) 新幹線京都駅特設パネルによる地下鉄利用の促進 新規

ア 内容

多言語の特設パネルにより、地下鉄利用を促進します。

イ 実施期間

令和6年10月9日（水）～令和7年3月31日（月）

ウ 実施場所

新幹線京都駅 下りエスカレーター（2箇所）

特設パネル



下りエスカレーター（西側）



下りエスカレーター（東側）

(2) 新幹線京都駅コンコース内のデジタルサイネージ等を活用した京都駅前バス乗り場ライブカメラ映像・推奨ルート等の多言語発信

ア 内容

京都駅前バス乗り場の混雑状況を即時的に伝えるため、バス乗り場のライブカメラ映像を大型のデジタルサイネージにより放映するとともに、ポスター・チラシにより、地下鉄の利用や手ぶら観光を促進します。

イ 実施期間

通年

ウ 実施場所

京都駅 2F 新幹線コンコース内



コンコース内デジタルサイネージ等

(3) 新幹線京都駅コンコースビジョン（22面）による推奨ルートの多言語発信

ア 内容

デジタルサイネージを活用し、地下鉄の利用を促進します。

イ 実施期間

令和6年11月4日（月）～12月1日（日）

ウ 実施場所

新幹線京都駅コンコース



コンコースビジョン

【放映内容】



（４）ＪＲ京都駅におけるデジタルサイネージ等を活用した情報発信

ア 内容

デジタルサイネージやポスターを活用し、サブゲートの利用を促す情報発信（多言語対応）を実施するとともに、京都観光モラルやマナーの周知・啓発、手ぶら観光の促進を多言語で実施します。

イ 実施期間

令和6年11月1日（金）～12月1日（日）

ウ 実施場所

京都駅橋上マルチビジョン、中央改札 等



橋上マルチビジョン

【放映・掲示内容】



（５）京都駅構内放送による発信

ア 内容

清水寺や南禅寺など、東山方面へのアクセスにＪＲ山科駅やＪＲ東福寺駅の活用を促すとともに、「京都観光快適度マップ」や荷物の配送・ロッカーなどの預けられる場所が分かるサイト「HANDS FREE KYOTO」の活用を促進します。

イ 実施期間

令和6年11月2日（土）～12月1日（日）の土休日ダイヤの日

※ 9時～14時の間30分毎

ウ 実施場所

京都駅中央改札及び西口改札（いずれも改札内）



令和6年10月16日

市民生活と観光の調和推進プロジェクトチーム

京都市都市計画局
担当：歩くまち京都推進室
TEL：075-222-3483

京都市産業観光局
担当：観光MICE推進室
TEL：075-746-2255

公益社団法人京都市観光協会

担当：企画推進課
TEL：075-213-0070

令和6年度 秋の観光課題対策（京都駅一極集中の緩和・手ぶら観光の推進） ～期間限定案内所及び臨時手荷物配送・預かり所の設置～

京都市及び（公社）京都市観光協会では、関係機関との連携の下、市民生活と調和した、持続可能な京都観光の実現に向けた取組を進めています。

本市に多くの観光客の来訪が見込まれる秋の観光シーズンにおいて、京都駅と観光地を結ぶバス路線の混雑緩和に向け、期間限定案内所及び臨時手荷物配送・預かり所を設置します。

なお、一部事業については、オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業（観光庁補助金）を活用して実施します。

1 京都駅前広場の期間限定案内所を核とした案内・誘導 **観光庁補助**

多言語対応の期間限定案内所により、京都駅から観光地へ移動する観光客を、地下鉄をはじめとする鉄道・観光特急バスなど、大量輸送可能な公共交通機関に案内・誘導するとともに、大型手荷物を持った観光客を、HANDS FREE BUS（宿泊施設等巡回バス）や臨時手荷物配送・預かり所等に誘導

(1) 期間限定案内所の設置

ア 設置場所

京都駅前広場（中央改札口前）

※ 詳細な場所は「【参考】会場図」参照



R5 期間限定案内所

イ 設置日時

令和6年11月16日（土）、17日（日）、23日（土・祝）、24日（日）、30日（土）、12月1日（日）の6日間（時間：9時～17時）

ウ 実施内容

日本語・英語・中国語・韓国語に対応できる窓口を設置し、案内・誘導を実施

(2) 誘導スタッフ及び巡回スタッフの配置

ア 配置場所

- ① 新幹線京都駅コンコース
- ② J R 京都駅中央改札口付近
- ③ 臨時手荷物預かり所付近
- ④ 京都駅全体の巡回

イ 実施日時

令和6年11月16日（土）、17日（日）、23日（土・祝）、24日（日）、30日（土）、12月1日（日）の6日間

- ① 新幹線京都駅コンコース：9時～13時
- ② J R 京都駅中央改札口付近：9時～14時
- ③ 臨時手荷物配送・預かり所付近：9時～14時
- ④ 京都駅全体の巡回：9時～14時

ウ 実施内容

- ① 新幹線京都駅コンコース
日本語・英語に対応可能なスタッフを配置し、案内・誘導を実施
- ② J R 京都駅中央改札口付近
日本語・英語・中国語・韓国語に対応できるスタッフを配置し、案内・誘導を実施
- ③ 臨時手荷物配送・預かり所付近
日本語・英語・中国語・韓国語に対応できるスタッフを配置し、案内・誘導を実施
- ④ 京都駅全体
各所での円滑な案内・誘導に繋げることを目的に、京都駅全体を巡回するスタッフを配置し、バス乗り場、タクシー乗り場、ロッカー等の状況を確認し、期間限定案内所スタッフや他の誘導スタッフ等と情報を共有

※ 期間限定案内所について取材を希望される場合は、11月16日（土）9時から30分間程度、期間限定案内所付近にて取材をお受けさせていただきますので、事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

2 臨時手荷物配送・預かり所の開設

京都駅において、臨時手荷物配送・預かり所を開設し、手荷物の宿泊施設への配送及び一時預かりサービスを実施します。

また、手荷物預託情報サイト「ecbo cloak」（運営：ecbo 株式会社）において、各サービスの事前予約も可能です。

※ 予約ページ：<https://>

QR

(1) 設置場所

京都駅ビル駅前広場（ホテルグランヴィア京都前）

※ 詳細な場所は「【参考】会場図」参照



R5 臨時手荷物預かり所

(2) 設置日時

令和6年11月4日(月・祝) 16日(土)、17日(日)、23日(土・祝)、
24日(日)、30日(土)、12月1日(日)の7日間(いずれも9時～17時)

(3) 利用料金

手荷物配送：1,500円/個(事前予約1,400円/個)

一時預かり：1,000円/個(事前予約 800円/個)

事前予約でお得に
利用できます！

【参考】会場図



©京都駅ビル開発株式会社 (<https://www.kyoto-station-building.co.jp/>)

<問合せ先>

- 期間限定案内所の開設等について 京都市都市計画局歩くまち京都推進室 (075-222-3483)
- 臨時手荷物配送・預かり所について 京都市産業観光局観光MICE推進室 (075-746-2255)

令和6年10月15日
市民生活と観光の調和推進プロジェクトチーム
京都市都市計画局
〔担当：歩くまち京都推進室〕
TEL：075-222-3483

令和6年度 秋の観光課題対策(道路の混雑対策)
～パークアンドライド利用の促進～

京都市では、観光地周辺の渋滞緩和と公共交通の利用促進を目的に、車から公共交通に乗り換えて目的地に向かっていただくパークアンドライドの取組を進めています。

この度、秋の観光課題シーズンにおけるパークアンドライドの取組について、お知らせします。

1 パークアンドライド利用による駐車料金の無料対応

4箇所の京都市重点利用促進駐車場において、パークアンドライド利用者の駐車料金を無料とする取組を実施します。

(1) 実施期間

令和6年11月1日(金)～12月1日(日)

(2) 対象駐車場

4箇所の重点利用促進駐車場

対象駐車場	駐車料金
明日都浜大津公共駐車場	当日最大750円 ➡ 0円
浜大津公共駐車場	
長岡京駅西駐車場	当日最大1,500円 ➡ 0円
タイムズ鴨川西ランプ	24H毎最大880円 ➡ 0円

※駐車場毎にパークアンドライドの利用条件は異なりますので、御注意ください。

【ポスター】



2 臨時パークアンドライド駐車場の開設

近畿運輸局の御協力により例年通り京都運輸支局の駐車場についても、無料のパークアンドライド駐車場として開設します。

(1) 実施日

令和6年11月23日(土・祝)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)

(2) 内容

駐車場名	最寄駅	利用可能台数	利用時間	料金
京都運輸支局駐車場	地下鉄くいな橋駅	約 140 台	午前 9 時～午後 6 時 (入庫は午後 2 時まで)	無料

通年で利用できるパークアンドライド駐車場の情報については、下記のホームページを御覧ください。

URL : <https://www2.city.kyoto.lg.jp/tokei/trafficpolicy/kankochi/>



3 入洛者の「日常生活・出発地」、「車内・経路」、「目的地直前」の3つの段階に応じた情報発信

マイカー利用者の多い近畿圏・中部圏、特に大阪府・兵庫県、愛知県といった地域を重点に、旅行の企画段階から現地に至るタイミング（「日常生活・出発地」、「車内・経路」、「目的地直前」の3つの段階）に応じて、行動変容を促すための効果的な情報発信を行います。

(1) LINE や公式X、特設ホームページによるきめ細かな情報発信＜日常生活・出発地～車内・経路での情報発信＞

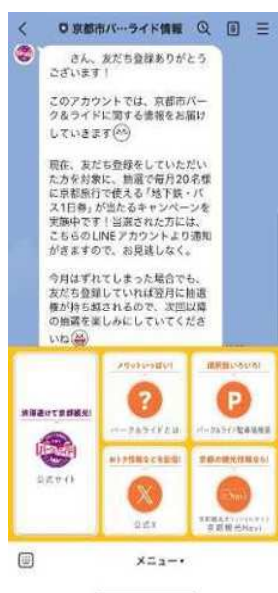
ア 実施期間

令和6年10月15日（水）～令和7年3月30日（日）

イ 内容

昨年度開設したXや特設ホームページに加え、新たに公式 LINE アカウントを開設し、パークアンドライド利用によるメリット(割引サービスや混雑回避情報など)や駐車場から観光地への公共交通を活用したアクセスの提案、渋滞情報などを継続的に発信し、パークアンドライド利用、さらにはマイカーから公共交通利用への行動変容を促します。

【LINE】



【X】



【特設ホームページ】



(2) 高速道路の広告媒体を活用した周知広報<車内・経路での情報発信>

ア 実施期間

令和6年11月1日(金)～11月30日(土)

イ 内容

中部圏から自家用車で来訪される方に向けて、
高速道路のサービスエリア(養老、多賀、土山)において、
テーブルステッカーを活用した広報を実施します。



なお、令和6年11月1日から近畿地方整備局京都国道事務所において、観光地混雑情報マップの公表や東山地域を対象とした一般車の駐車場予約システムの予約が開始される予定であり、国・市の連携により広報を行います。

(3) パークアンドライド駐車場への誘導看板の設置<目的地直前での情報発信>

ア 実施期間

令和6年11月1日(金)～12月1日(日)

イ 内容

高速道路出口からパークアンドライド駐車場までの
ルート上に路上看板を設置し、丁寧な案内誘導に努めます。



4 民間事業者と連携した取組

- (1) イオンモール株式会社、タイムズ24株式会社と連携し、3施設(イオンモール京都五条、イオンモール京都桂川、イオンモールKYOTO)の施設内駐車場をパークアンドライドに利用いただける駐車場として開放していただきます。

※ 取組詳細については、後日改めてお知らせします。

- (2) タイムズ24株式会社の会員制サービス「タイムズクラブ」のメールマガジンを通じて、マイカー利用者に対しパークアンドライドの利用促進の取組に係る情報発信を行います。